令和6年度 熱海市立熱海中学校の部活動に係る活動方針

1 部活動の活動方針の策定について

「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン(スポーツ庁)」及び「静岡県部活動ガイドライン(静岡県教育委員会)」、「熱海市運動部活動ガイドライン(熱海市教育委員会)」を参考に、学校教育がめざす資質・能力の育成のための活動方針を作成する。

2 部活動の目的

学校教育の一環として、生徒の自主的、自発的な参加により行われ、異年齢の交流の中で、生徒同士や生徒と教師等との好ましい人間関係の構築を図り、学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の涵養に資するなど、生徒の多様な学びの場としての教育的意義が大きい。

また、心身の成長過程にある中学生にとって、体力の向上や芸術活動、技能習得活動とともに、他者を尊重し他者と協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い、実践的な思考力や判断力を育むなど、人格の形成に大きな影響を及ぼすものであり、生涯にわたる健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む基礎となるものである。

3 めざす部活動における生徒像

- ・高い意欲をもち、自主的、自発的な参加により行う
- ・礼儀やマナーを身につけている(気持ちのよいあいさつ、返事、受け応えができる)
- ・競技等のルールだけでなく、学校の規則やきまりも守る
- ・試合やコンクール等に出られなくても、一生懸命に練習に励む
- ・協調性、責任感、連帯感などを高め、学校生活を向上させていく
- ・よりよい人間関係の構築を図ることができる
- ・自己の力を確認し、努力による達成感、充実感を味わえる
- ・意欲を学習にもつなげ、学力を伸ばしていくことができる

4 教師としての心構え

- ・めざす生徒像に近づけるために、学校の教育活動全体で生徒を育む
- ・今以上の技能の水準や記録に挑戦することで、試合やコンクールで勝利をめざす
- ・生徒とのコミュニケーションを十分に図り、生徒がバーンアウトしないようにする
- ・合理的でかつ効率的・効果的な取り組みになるように指導方法を工夫する
- ・過重な練習を強いることや体罰による指導は行わない
- ・毎月の活動計画を部報等で生徒に配布する
- ・生徒のけがや事故を未然に防止し、安全な活動となるように環境整備に努める

5 活動時間と休養日について

「熱海市運動部活動ガイドライン」を参考に「平日2時間以内、休日3時間以内を活動時間とし、月曜・水曜・週休日のどちらか一日を休養日とする」ただし、平日については会議や出張等で教員が練習に十分配置できない場合はなしとする。週休日の大会等で連続して活動する場合についてはその前後で調整をして適度な休養日(1日活動を行った場合は半日、2日連続で行った場合は1日半)を

前後1カ月で設ける。3日以上の子休の場合、少なくとも1日は休養日とする。また長期休業中は原則土・日・祝日は活動せず、お盆の時期を中心に10日間程度の停止期間を設ける。

6 令和6年度の部活動

運動部：野球部、バレーボール部男子・女子、バスケットボール部男子・女子

ソフトテニス部男子・女子、卓球部男子・女子、剣道部男子・女子

文化部：吹奏楽部、美術部、パソコン部

7 学校としての部活動停止日、停止期間

- ・毎週月曜日と水曜日は、原則部活動の停止日とする
- ・長期休業中の土日祝日は部活動の停止日とする
- ・その他、活動を停止する日

4月	5月	6月	7月
入学式 始業式	中間テスト期間 ※14(火)～17(金)	期末テスト期間 ※10(月)～14(金)	終業式

8月	9月	10月	11月
学校閉庁日および お盆期間 ※10(土)～20(火) 始業式	中間テスト期間 ※17(火)～20(金)	熱中発表会	期末テスト期間 ※9(土)～15(金)

12月	1月	2月	3月
学校閉庁日 ※29(日)～31(火)	学校閉庁日 ※1(水)～3(金)	学年末テスト期間 ※8(土)～14(金)	卒業式修了式 離任式

8 その他

- ・各運動部活動顧問は、月別部活動実施計画(活動日時および休養日、大会日程等を記載)を作成し配布するとともに、部活動実施報告を校長に対して確実に行う。